

第 29 期生の大塚勇次です。このたび花沢前会長からタスキを受け、仙台大学陸上競技部 OB・OG 会長を務めさせていただきます。

コロナウイルス感染症により、不自由な時代ですが、これもいい意味で新しい活動形式構築と考え、任期内精一杯、新役員の仲間をはじめ、皆様方のご支援を賜りながら、舵取りをしていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

OB・OG 会の目的は設立当初と変わらず 2 つ。

- ・仙台大学陸上競技部登録選手の活動を応援する。
- ・我々 OB・OG の親睦を深める。

この目的、活動継続とさらなる発展のためには多くの皆様のご賛同を頂戴しなければ成りません。引き続き、御理解、御協力をお願い致します。

OB・OG 会が設立され早 3 年目に入り、ブラッシュアップを求められる時期になったと考え、先日新役員の皆様と意見交換をしました。

内容としては、

- ・仙台大学陸上競技部 OB・OG 会の名前を変更する
- ・年会費の見直し
- ・広報活動の強化

・SDGsへの取り組み

・我々OB・OGの情報管理

以上について話し合いをし、任期内にアクションプランとして達成していく事とします。

まずOB・OG会という男女区別をした表記について、時代のベクトルにより、もっと親しみやすく、仲間を集える団体名にしたいと考えます。

年会費について、今の会費金額、納入方法等に不便があり、もう少し皆様に分かりやすく、御支援をいただける環境、状況にしていきます。

広報活動について、仙台大学陸上競技部選手の皆様がどの大会に出場し、またその結果がどうであったかを。明確にして、我々OB・OGが応援しつづけるように、情報共有をしていく。SDGsの取り組みについて、目標4と目標17を目標にしていく。仙台大学陸上競技部卒業生には、学生時代に全国・世界レベルで結果を出し、また社会人になってから組織の代表として活躍している仲間が多数存在する。その方々のマインド共有をすることにより、在学生の道標に役立ってほしい考えがある。そして、仙台大学陸上競技部への支援と新たに女子駅伝（ブロック）が発足に伴い、競技活動を継続して支援をする。杜の都仙台での選手達の疾走が、プラスαで我々の希望となり、選手達へ躍進そして将来に期待したい。

最後に情報管理についてですが、先程述べた在學生への競技以外での支援として、多

くの有識者、有権者からの講演会を考えている。差し支えない情報提供をいただき、
企画のオファーができる環境にしていきたい。

最後に、大役を任されたからには、「会の持続的成長と選手の課題解決に貢献する」
とし、関係各位、皆様の声に、耳を傾け意志をもって取り組んで参ります。
どうぞよろしくお願い致します。

以上

大取勇次 